

2022年5月13日

各位

会社名 日本工営株式会社
 代表者名 代表取締役社長 新屋 浩明
 (コード 1954 東証プライム)
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
 中嶋 規行
 TEL 03-5276-2454

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2021年8月13日に公表いたしました2022年6月期の通期連結業績予想および個別業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2022年6月期 通期連結業績予想 (2021年7月1日～2022年6月30日)

【IFRS基準】	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 131,000	百万円 7,700	百万円 4,700	円 銭 312.32
今回発表予想 (B)	131,000	9,000	6,600	438.39
増減額 (B - A)	—	1,300	1,900	
増減率 (%)	—	16.9	40.4	
(参考) 前期連結実績 (2021年6月期)	117,859	7,128	4,531	300.00

(2) 2022年6月期 通期個別業績予想 (2021年7月1日～2022年6月30日)

【日本基準】	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 82,000	百万円 4,800	百万円 3,500	円 銭 232.58
今回発表予想 (B)	82,000	6,400	4,300	285.61
増減額 (B - A)	—	1,600	800	
増減率 (%)	—	33.3	22.9	
(参考) 前期個別実績 (2021年6月期)	73,970	5,750	2,480	164.23

(3) 業績予想修正の理由

主力事業であるコンサルティング事業の海外部門において現地作業が好調に進捗し、渡航費等のコストが抑制傾向で推移、連結子会社においても体質改善が順調に進捗しております。また、期初業績予想時の想定為替レートから円安が進んだこと等により、当第3四半期決算の状況を踏まえ業績予想を行った結果、連結・個別とも各段階利益が前回発表予想を上回る見込みとなりました。

以上